

ほけんだより 7月号

令和元年 6月28日
国立保育会
きたひだまり保育園
園長 山本 菜穂子
看護師 奥村

先月は季節外れの暑さのせいか、夏の感染症であるアデノウイルス感染症(プール熱)が園内で流行しました。梅雨が明けると本格的に夏の感染症の流行期になります。引き続き体調の変化に気を付けていきましょう。

7月の保健行事

- 9日(火) 身体測定 0、1歳児
- 10日(水) 身体測定 2、3歳児
- 19日(金) 0歳児健診



<今月の感染症報告>

- プール熱 9名
- アデノウイルス性胃腸炎 1名
- 流行性角結膜炎 1名
- 溶連菌感染症 1名
- 突発性発疹 1名
- RSウイルス感染症 1名



とびひ「伝染性膿痂疹」にご注意を!

0~1歳児の乳児やアレルギー体質の子は、蚊に刺されたところがひどくはれてしまうことがあります。とびひは蚊に刺された跡や、怪我した所に菌がついて発症します。「ジクジクしている」「傷がなかなか治らない」場合には注意が必要です。抗菌薬の塗り薬や内服薬が必要になりますので、はやめに受診しましょう。

【受診の目安】

- はれがなかなか引かない
- かゆみがひどい
- ジクジクしてきた



*ジクジクしているところはガーゼなどで覆って登園しましょう。

夏の感染症

乳幼児がかかる主な夏の感染症は、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱の3つです。

咳やくしゃみなどを介した飛沫感染の他、便から排出されたウイルスからも接触感染します。発熱や喉の痛みの他に、その病気特有の発疹などの症状が出るのが夏の感染症の特徴です。

①手足口病 ⇒登園届けが必要です

手のひら、足の裏、口の中、お尻などに小さな水疱性の発疹ができます。

②ヘルパンギーナ ⇒登園届けが必要です

39℃前後の高熱が出て、喉の奥に水疱ができて、食べ物を飲み込むのに痛みが伴います。



③プール熱(咽頭結膜熱) ⇒登園許可証が必要です

アデノウイルス感染症の1つで、39℃前後の高熱が4~7日続き、喉が赤くはれ、結膜炎を伴います。

※アデノウイルス感染症にはいろいろな型があり、プール熱の他には咽頭炎を主体とするもの、胃腸炎を主体とするもの、流行性角結膜炎を起こすものなどがあります。

